

プラウド日吉レジデンス I 棟

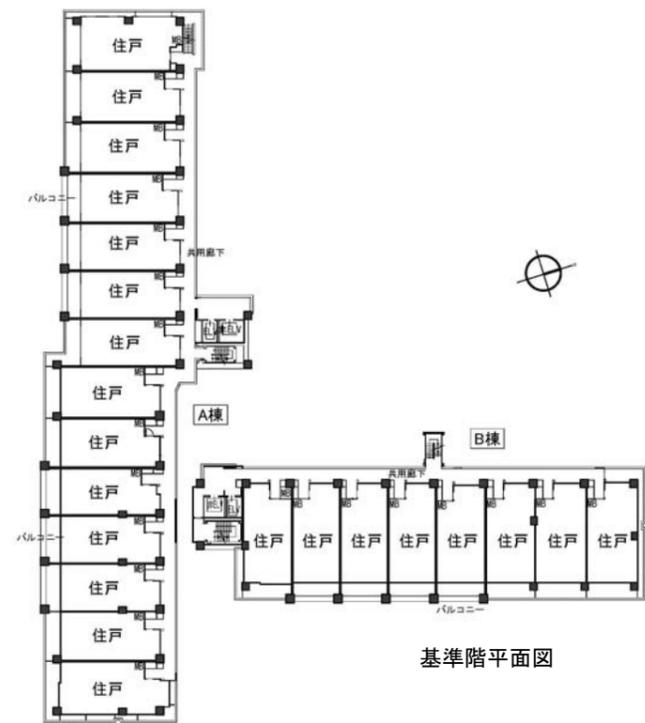
No. 23-019-2020作成
新築
共同住宅

発注者	野村不動産株式会社 他2社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
設計・監理	三井住友建設株式会社一級建築士事務所	E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携	
施工	三井住友建設株式会社 横浜支店	I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他	

「暮らし」「健康」「学び」・・・多世代が輝く複合機能を集めて。

「横浜市都市計画マスタープラン港北区プラン」より、大規模土地利用の転換に際し、周辺地域への影響やインフラ・公共施設の状況を考慮しながら地区計画等のまちづくりルール化を図り調和のとれた目標を全体街区・複数建物における取り組みを行います。環境未来都市・横浜の将来像の一つである「よこはま多世代・地域交流型住宅の供給」などを通じ、持続可能な魅力あるまちづくりを目指し、様々な取組により、低炭素まちづくりの形成、地域連携による防災対応力の強化、人々がつながり健康で暮らしやすい地域づくりを実現しました。

エネルギー利用とIoTの活用による安心で健康で快適なまち（スマートウェルネス）を実現し、サステナブル建築物等先導事業（省CO2先導型）提案申請[住宅（共同住宅）]を行い補助金交付の評価やBELS認定の取得を全体街区（I棟・II棟・III棟）で行いました。



外観写真 1

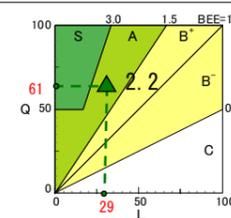


外観写真 2



内観写真

建物データ	所在地 神奈川県横浜市	省エネルギー性能	品確法省エネ対策 等級 4	CASBEE評価	Aランク
竣工年	2020年	BEI	0.76	BEE=2.2	
敷地面積	11,300㎡	LCCO ₂ 削減	39%	2016年度版	
延床面積	31,900㎡	BELS★★★★★		第三者認証	
構造	RC造 一部S造				
階数	地上20階				



マンション専有部に、I棟・II棟はエコキュート、III棟は逆潮流対応新型エネファームを導入し、III棟で使い切れないエネファーム逆潮流電力と受変電設備・自営線を介してI棟・II棟に融通します。

季節や時間帯によって、全体街区内の融通だけで全ての逆潮流電力を使いきれない場合は、エネルギーサービスプロバイダー（ESP）事業者がエリアエネルギーマネジメントシステム（AEMS）を用いて大型蓄電池とエコキュートを遠隔制御し、蓄電池への充電やエコキュートの焚き上げ時間をずらすことで、III棟のエネファームの出力抑制・単純湯沸しモードでの低効率運転を回避し、エネファームの持つ環境性能を最大限発揮させる事ができ、全体街区が竣工する2023年春に魅力あるまちが完成します。

全体街区で取り組みを実現する設備は、大型蓄電池、HEMS、太陽光パネル+蓄電池等の設備とそれらを統合制御するAEMSで構成されます。

住宅内部には、IoT技術を活用し（家電コントロール、インターホン対応、）情報を統合することで一つのデバイスでの操作が可能となり、エネルギー情報に触れる機会を増やし、住まい手の意識を変えエネルギーや時間の無駄をなくし、家族で過ごす時間を豊かなものにする住まいも目指しました。さらに快適な住空間をつくるため、パッシブ設計として換気機能付き玄関ドアをリビングの換気機能付きサッシを採用し空気の流れをつくりました。

太陽光発電設備と蓄電池設備を導入し、共用部の電気の一部を補い更に免震建物により耐用性・信頼性の高い災害に強いマンションづくりに心がけました。

専有部のパッシブ設計として換気機能付玄関ドア、リビングの換気機能付きサッシを採用し、住戸内の空気の流れを図りました。



設計担当者

統括：幅康宏/建築：庄司愛、水上知昭/構造：廣邊 琢也、設備/藤原亜希子、定松正樹

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（免震建物）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（地区計画・形態意匠等の制限への配慮）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4を取得）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（通風サッシ、太陽光パネルの採用）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（エコキュート採用による一次エネルギーの削減）
- LR1. 4. 効率的運用（HEMS採用による見える化）



住戸内観写真



太陽光発電設備 イメージ写真

安全・安心・クリーンで、環境にやさしく、家計にうれしい。電気と待機熱を利用した高効率エネルギーシステム

「エコキュート」

